

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

建設整備事業

事務事業の段階

計画  事業化  事業  管理

個11事02

政策名	2 ものづくりの港		23年度事業・個別施策評価結果 (今後の取組みの方向性)			責任者	港営部 港湾利用高度化担当 課長
基本施策名	03 産業の高度化・新展開・創出		事務事業	成果	コスト	連絡先	052-654-7964
個別施策名	11 企業の新たな事業展開を支援する		継続	維持	維持	連携先	
事務事業名	02 関係機関による産業立地推進事業への協力					連携先	
目的	企業の事業(ミッション、セミナー)に協力し、名古屋港への企業進出意欲を高めます。					事業期間	昭和44年度～継続
概要	愛知・名古屋国際ビジネスアクセスセンター(I-BAC)、愛知県産業立地推進協議会等の事業に協力し、名古屋港のPR活動を行っています。					根拠法令等	
						実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
24年度の実施予定	I-BACが開催する外資系ネットワーク懇談会において、当地におけるビジネスを維持・強化できるように有益な関連情報の提供を努めるとともに、産業立地セミナーへの参加及び企業訪問により、名古屋港の利便性をアピールし、背後地への企業立地を促します。					関連シート	

2 DO(実施)

24年度に実施した内容・結果	I-BACが開催する外資系企業と地元業者との商談機会等の創出のための外資系企業ネットワーク懇談会や愛知県産業立地推進協議会が開催した企業誘致促進のための産業立地セミナー等に参加し、名古屋港のPRを行いました。						
コスト(年度)		20(実績)	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績)	備考(款項目節等)
事業費計	千円	248	224	224	254	239	(款項目節) 歳出: 港営費/港営管理費/港営総務費/負担金、旅費
一般会計	千円	248	224	224	254	239	(算出計算式) 愛産立協議会負担金200千円及び東京出張旅費24千円、大阪出張旅費15千円、福井42千円、岐阜29千円の合計
事業会計	千円						
その他	千円						
人員費計	千円	11,401	10,728	10,601	10,344	9,588	(その他)
正規職員	人	1.30	1.25	1.25	1.20	1.10	
嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
合計	千円	11,649	10,952	10,825	10,598	9,827	

3 CHECK(検証)

活動・成果 指標	年度	20	21	22	23	24	中間目標 24	備考(指標の算定方法など)
外資系企業ネットワーク懇談会の来場者数(人)	目標	150	150	150	150	150	150	来場者数の合計を把握することで、各企業の名古屋港等への進出意欲の高さを見ます。
	実績	185	191	150	163	170		
	達成率(単年度%)	123.3	127.3	100.0	108.7	113.3		
	達成率(累計%)	-	-	-	-	-		
産業立地セミナーの来場者数(人)	目標	150	150	150	150	150	150	産業立地セミナーは、23年度同様、東京と大阪の2回参加しました。
	実績	206	222	208	369	422		
	達成率(単年度%)	137.3	148.0	138.7	246.0	281.3		
	達成率(累計%)	-	-	-	-	-		
必要性・有効性・効率性の確認		判断理由 (課題の抽出)						その他特記事項
必要性	どうしても必要な事業か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						企業進出の多様なニーズを把握するためには、関係機関との連携が必要であり、臨海部への産業立地に関するニーズは高いと考えるため、本組合も愛知県等の産業立地推進事業に関与する必要があります。
	利用者のニーズは高いか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						
	本組合が関与する必要があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						
有効性	目的や目標の水準は妥当か?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						当初の目的どおり愛知県産業立地推進協議会とI-BACと連携し、企業の進出意欲を高めるため、各種セミナーに参加しました。関係機関と連携した産業立地の推進は、産業の高度化・新展開に寄与するものと考えます。
	目標を達成したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						
	個別施策へ貢献したか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						
効率性	最小のコストで成果をあげているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						関係機関が実施する事業に協力し、名古屋港のPRを行うことは効率的であり、主体的に参加し、産業立地推進を行うことは重要だと考えます。本組合として、他団体が実施する事業に協力するものであり、受益者への負担はありません。
	受益者に適正に負担させているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						
	効率的な運営主体となっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> ○ × □						

4 ACTION(取組)

個別施策評価結果による今後の取組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	継続			企業誘致には関係機関との連携が欠かせず、より効率的で効果的なPR活動を検討しながら進めることが必要のため。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取組み				
企業誘致事務と貨物集荷事務を一元的に行っていく体制を確立し、今後もI-BAC及び愛知県産業立地推進協議会の事業に積極的に参加することにより、更なる誘致、PR活動の推進を図ります。				